

『仕事のアイデア発想術』

2006.10.14 東京渋谷講演用レジュメ

講師 岩波貴士



「日本アイデア作家協会」

もくじ

1. アイデアの性質	1
2. 素材としての「情報」集め	2
3. 自由な発想をするための「姿勢」	4
4. 発想や改善を妨げる要因&その対策	6
5. 視点の発見法・発想法	7
6. 「起業」のための知られざる視点	10

解答例

「日本アイデア作家協会」

代表 岩波貴士

(抜 粋)

.....

《 アイデアの性質 》

■ アイデアは[]だ！ と考えよう。

人から生まれるものであるため[]性がある。優生遺伝・一人歩き・成長・結婚・
始めから立派な人間がいないように、アイデアも立派に成長するまで「育てる」べき対
象である。

■ アイデアは[]を持つ人に寄ってくる。

. . . . アイデアは生まれたくてしょうがない！
常に[]を探している。

■ アイデアを惹きつけるフェロモンの正体は . . .

. . . . そのテーマに対する[]である。

■ アイデアの出やすい環境をつくる。

- 脳は真空を嫌う 人はなぜテレビをつける？
- 意識的に[]の無い時間を作る。
. . . . アイデアは小声で聞こえてくる。
- 筋肉と発想力 筋肉を休ませる環境に身をおく。
- 歩く刺激と情報 移動中にアイデアが出やすい理由
- 睡眠と発想力 . . . 朝ではなく正確には[]にアイデアは出やすい。
- 目が覚めたら片目ずつ開ける . . . 両目を開けると突然記憶が消えてしまう。
- []プレッシャーをかける ([]プレッシャーはかけない)
. . . . 「頭を使って気を使わず」

『 お金のないことが問題ではない、アイデアのないことが問題なのだ 』
(ロバート・H・シュラー)

《 素材としての「情報」集め 》

- 悩む前、努力の前、発想する前に、まず ことを忘れない。
⇒ すでに解決するための「情報や道具」が存在する場合はほとんどなのだ。

「この世の悩みの大半は、判断の根拠となる知識が十分でないのに、
あえて判断を下そうとするから生じる」
(ハーバード・E・ホークス)

■ 肉ジャガの話

- 同一テーマに対する「アイデアのサンプル」をたくさん学ぶ。

- 情報は集めただけでは価値が低い。 して、はじめて価値が出る。

- アイデアは と の組み合わせ、と言うけれど・・・

まずは、情報を集めて する事からからはじめてみる。

- 効率的に情報を収集するための視点・・・

読書の際の視点

本は、提供(アウトプット)することを前提に「探す姿勢」で読む。
その中から「新規性のある情報」だけ探し出し(抽出)、分類する。

⇒ 「重複していない情報集」を作ることによって「新しい情報」が明確になる。

「各テーマごと」に、フォルダーを作り、以下の項目別に情報を投げ込む。
(無料ソフト「紙 copi Lite」 <http://rakusai.org/>)

- ① アイデア・視点・応用例
- ②
- ③ 名言・比喩・例え話・表現方法
- ④ エピソード・歴史
- ⑤ 情報源・・・など

※ 同一テーマで分量がまとまれば「価値」になる。

(参考になる情報分類法：<http://www.carriageway.jp/business/skills/index.html>)

※ スクロールして下の方に分類表があります。

■ 読書は「累積効果」を期待すべきものであり、1冊読んだからといってどうなるものでもなく読み続ける習慣が大切。・・・「発想力は考える習慣の産物」

■ 活字にされていない部分の情報を読み取る。(行間を読む)

■ その情報をもたらす「間接的影響」を推論する。(風が吹けば桶屋が儲かる)

■ ネット社会においては[]情報こそ価値の高い情報である。

■ 人の話を聞くときの視点は「 []情報かどうか?」である。

その業界での「あたりまえの知恵」が他業界では斬新な場合が多い!

■ 人の話は活字になる。活字にすれば[]・・・集中して聴く

『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』(山田真哉著)の[]は?

■ 自分の考えや相手の発言を「矢印」で表現してみる。

A「でも・・・」(↓) 悲観的・否定的な場合は下向き

B「・・・じゃあ どうすれば?」(↑) 建設的・肯定的な場合は上向き

下向きなら「じゃあどうすれば?」で切り返す。

情報を得るための最良の方法は・・・

情報を[]である。

「与えよ、そうすれば与えられるであろう」

(ルカによる福音書)

《 発想や改善を妨げる要因・・・ & その対策 》

- 「声の大きさ」と「目力(めぢから)」が自由な発想を妨げる。

外圧) アイデアは を約束されなければ出しにくい。
(ブレインストーミング法の基本)

⇒意識を変えることの必要性「批判の恐怖をなくすには？」

- 私の場合は、よいアイデアを出すことではなく、
「を目的」にしている。
- 批判は「視点の提供」だと考え「」につなげる。

内圧) ホメオスタシス(恒常性機能)

・・・今の自分を可愛がり維持しようとする心理

人間は を「正当化」するための反応をしてしまいがちな生き物。

(ホメオスタシス的言語反射) ⇒ 「・・・」「無理だ=変えなくていい」

★「変えること」の要求 ≡ 現在の自分の「否定」

悪い問い掛け できるか?できないか? (50:50ではないことへの理解)
良い問い掛け か?

★⇒ そのためには を に変える。(自分以外の「対象」にする)

- 思考を「紙に書き出した時」が、 が に変わる瞬間!

- 自分を「変える」という視点ではなく「増やして選べる状態」にすると捉えるべき。

アイデアを出す習慣は「変えること、いじることの習慣」であるため「心あり方」の理解は一見関係なさそうですが、とても大切なことです。

「 同じことを繰り返し、
異なる良い結果を期待するというのは
一種の病気である 」
(心理学の格言)

◀ 視点の発見法・発想法 ▶ . . . 数を出すにもルールが必要

・
・
・
・
・

つづきと解答は講座の中で！(^o^)/”

[サイトに戻る](#)